

報道関係者各位

2007 年 8 月 31 日

森ビル株式会社

森ビル総合震災訓練 子どもたちが六本木ヒルズで訓練に参加 「逃げ出す街から逃げ込める街」へ

森ビル株式会社（東京都港区 代表取締役社長 森 稔）は、防災週間の初日である 8 月 30 日（木）に、六本木ヒルズにて総合震災訓練を実施しました。

当社は、「逃げ出す街から逃げ込める街へ」のコンセプトのもと、周辺地域の防災拠点となる災害に強い安全・安心な街を目指して様々な取組みを進めています。今回の総合震災訓練は、当社が年間を通じて実施する様々な訓練の中でも大規模なものであり、毎年、全社員が参加して、被災時におけるテナントや入居者、周辺地域住民の安全確保や、ビル機能の早期回復に向けた活動訓練を実施しています。

今年は震災訓練の実施日を夏休み期間中に設定し、周辺地域の子どもたちにも震災に対する心構えや対策を考える機会となるよう、実際に子どもたちが参加できる体験訓練を実施しました。



消火器操作訓練の様子

当日は子ども 14 名と、その保護者 9 名の計 23 名が参加し、出血時の応急手当や、火災時の煙の中での避難、起震車での震度 6 の揺れなどを体験しました。

今回の体験訓練に参加した子どもたちからは、「本当の火事や地震だったらもっと大変だと思った」、「消火器は初めて使ったので役に立った」、「自由研究の参考になった」などの感想が挙げられ、今回の体験を通じて、震災対策の重要性を興味深く学んでいました。

体験訓練の様子



起震車で震度6を体験



ロープの結び方を学ぶ



ネクタイと割り箸を使って止血



非常食（マジックライス）の試食

当社では独自の震災対策要綱を制定し、当社施設の利用者はもちろんのこと、地域全体の安全性を守るという考えのもと、民間企業としては最大規模となる非常用食料等の備蓄（約 20 万食）、震災時の被害状況を迅速に収集するための独自システム開発など、様々な対策を進めています。

また、新潟県中越沖地震で顕在化した長周期地震動についても、いち早く感知してエレベータを安全停止させるシステムを 2005 年に独自開発し、稼働させています。

※当社の震災対策関連の主な取組みについては別紙参照

今後も、当社では震災時の対策設備や人的体制の整備といったハード、ソフトの両面から安全レベルの向上を進めるとともに、地域住民が災害時に安心して逃げ込める街として機能するよう、体験訓練や防災意識啓発の機会を積極的に創出してまいります。

【本件に関してのお問合せ先】

森ビル株式会社 広報室 野村・竹内・森澤

TEL : 03-6406-6606

FAX : 03-6406-9306

E-mail : koho@mori.co.jp